

# 「合志ブランド」に7事業者16商品を認定

FOCUS KUMAMOTO

●話題 フォーカスくまもと

合志市や同市内の有識者などで作る合志市特産品地域ブランド推進協議会（会長＝荒木義行・合志市長）はこのほど、同協議会が定める合志ブランド認証品に同市内の7事業者16商品を認定した。

合志市の農産物や特産を使った商品を地域ブランドとして認定することで、物産振興や知名度向上などつなげようと初めて取り組んだもの。認定したのは、農業法人山渡会の焼酎「竹迫城」（6種）、緒方エッグファームのタマゴ「かぐや姫たまご」とカステラの「かぐや姫のかすてら」（3種）、農事組合法人合志バイオXの牛糞ペレット堆肥「合志の恵み」、工藤製茶工場の緑茶「蒸製玉緑茶」、（株）釜屋の「国産ごまドレッシング」（2種）、（株）峯樹木園の「果実桑の葉茶（粉

合志市特産品地域ブランド推進協議会

末含む）、オオヤブデイリーファームの「ジャージーノンホモヨーグルト」の7事業者16品目。同協議会では専用ホームページや同市内の物産館「ユーパレス弁天」などに紹介コーナーを開設し、合志ブランドとしての周知徹底や認知度向上に取り組む。

同協議会では「地域ブランドとして認定することで、合志市の物産振興や知名度向上につなげたい」と話している。



▲合志ブランドの認証を受けた各事業者の代表らと認定商品